

戦争や平和について詠んだ短歌コンクール 「八月の歌2020」 作品募集

今年で12回目となる戦争や平和について詠んだ短歌コンクールの作品を募集します。フランスで平和活動に取り組む歌人の美帆シボさんが、優秀賞と奨励賞を選考し、表彰します。



昨年の入賞者

- 部門** 一般の部、中学・高校の部
- 応募方法** 6月19日(金)までに**郵送**・**MAIL**(作品と郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、職業または学校名・学年、年齢、電話番号を明記)
※未発表のオリジナル作品を1人2首まで(読みづらい文字にはふりがなを振ってください)
※学校からの応募はA4判用紙にまとめて、作品ごとに学年、氏名(ふりがな)と担当教員名、連絡先を明記
- 主催** 朝日新聞社 **共催** 高山市 **後援** 高山市教育委員会
- 問合せ** 朝日新聞名古屋本社編集局「八月の歌」係
〒460-8488 名古屋市中区栄1-3-3
Mail:n-hachigatsu@asahi.com

全国一斉情報伝達訓練
5月20日(水)午前11時に実施



消防庁による「全国一斉情報伝達訓練」の実施に伴い、5月20日(水)に防災行政無線や受信機(防災ラジオなど)から試験放送が流れます。また、館内放送設備に全国瞬時警報システム(Jアラート)受信機を接続している場合は施設内でも試験放送が流れます。実際の災害に備えた情報伝達訓練に、ご理解ご協力をお願いします。

問合せ 危機管理課 ☎35-3345

消防庁による「全国一斉情報伝達訓練」の実施に伴い、5月20日(水)に防災行政無線や受信機(防災ラジオなど)から試験放送が流れます。また、館内放送設備に全国瞬時警報システム(Jアラート)受信機を接続している場合は施設内でも試験放送が流れます。実際の災害に備えた情報伝達訓練に、ご理解ご協力をお願いします。

問合せ 危機管理課 ☎35-3345

飛騨山脈ジオパーク構想ジオサイト(第27章)

奥飛騨温泉郷(その3)

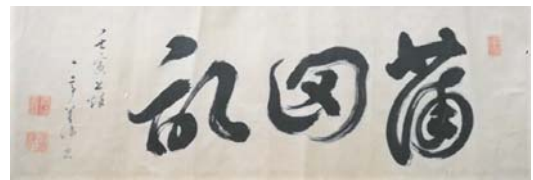
今から三百年ほど前に書かれた「飛州志」という地誌(風土記)があります。この書は、時の将軍徳川吉宗の命を請け、飛騨国第7代の長谷川忠崇代官によって編纂されました。ここには、飛騨の温泉6カ所が書かれています。

その中に、平湯温泉と蒲田温泉の記述があります。両温泉とも「往古湧出由来未詳」すなわち大昔から湧いているが、その始まりは分からないとあります。

続けて、両温泉に古くから伝わる「平湯記」「蒲田記」が引用されています。このうち蒲田記の末尾には「按ずるに飛州の隠士幽嘯軒守朱子誌す所なり」とあります。この守朱子という人は、金森藩の儒医(儒学者兼医師)であった角田享庵の号です。この蒲田記には、角田享庵の母親の腕が痛むので高山から蒲田温泉へ湯治に出かけたことや、熱湯を吹き出している地獄という所へ出かけたりしたことが書かれています。また、村人から聞いたと思われる蒲田温泉の始まりを天正年間(16世紀後半)ではないかとも書かれています。

なお、蒲田記原本の末尾には、「延宝丁巳(1677年)夏五月幽嘯軒守朱子誌落款」とあり、今から340年以上も前に書かれた事がわかります。

また、平湯記についても「以上由来不詳疑らくは朱朱子の記するものか」とあり蒲田記と同一人物によって書かれたものであろうとされています。この温泉記にもその濫觴、湯治方法や優れた効能が詳しく書かれ、驪山霊泉や有馬神湯に匹敵する名湯であると絶賛しています。そして、大地(ジオ)からの恵み温泉を多くの人々に享受してもらいたいと結んでいます。



(飛騨地学研究会 下畑五夫)

平成29年から連載していましたがジオサイト紹介は、今回をもって終了いたします。

今後は、ホームページに掲載しますので、ご覧ください。

飛騨山脈ジオパーク推進協議会 <https://hidageo.com/> **問合せ** 飛騨山脈ジオパーク推進協議会 ☎0578-84-0038